



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2012-2013 年度 No. 2 0

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2012-2013 年度 会長 河合耕一、幹事 上田昭二

2012-2013 年度 RI テーマ



「奉仕を通じて 平和を」

(田中作次会長)

例 会 記 録

第 1 6 4 6 回例会

平成 2 4 年 1 1 月 1 4 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング：我等の生業
3. 会長の時間：11月8日、「いい歯の日キャンペーン」で聖徳幼稚園に行ってきた。私は3回目。子どもたちは行儀が良い。あらためて感心した。寒い日だったが、小さい子どもも板の間に正座をして紙芝居を見ていた。日頃からほとけ様の教えを躰として身につけていたからであろう。精神的な基盤を宗教から学んでいるのであるような子どもに育つのか。今の世の中のような状態では夢も持てそうではないし、自殺者も少なくならないうと、子どもたちの様子を見ながら思っていた。学ぶところが多い聖徳幼稚園の奉仕活動であった。

後で地区大会後のアッセンブリーについて13人に意見発表をしてもらおう。私はこの会長の時間で続いて地区大会の話をする。街路樹の清掃奉仕の企画中だが、RI 会長代理の中村さんの言葉には感じるところがあった。ボランティアの仕事では上からのリーダーシップは要らない、超我の奉仕という1つの舟の中の人間だからタテ型のリーダーシップではなくて、ヨコ型のリーダーシップが重要だと。南砺市でも協働社会を唱えているが、街路樹の清掃もヨコ型のリーダーシップを共感してもらい、そのようにリードもしていきたい。

(補足) 地区大会で、会員増強拡大賞 (2011-2012 年度) を受けました。会員数 20 名以上の小規模クラブ会員増加の表彰です。



4. 幹事報告：①街路樹の清掃奉仕に参加されたい (17 日 10 AM へリオス、18 日 8 AM、福野行政センター) ②東京オリンピック招致運動のピンバッチを付けて協力をお願いしたい (地区大会で、各会員に配布を依頼された) ③他クラブ例会変更は事務局に確認。
5. 委員会報告：①社会奉仕委員会 (山本委員長) ; 「いい歯の日キャンペーン」を実施した。お礼を申し上げたい。北日本新聞と富山新聞に掲載された (テーブル毎の回覧)。②出席委員会：本日 20 名中 14 名出席 (70.00%)
6. ニコニコBOX (SAA：本日 8 名 11000 円)

河合会長：暑かった夏の事、忘れました。寒くなりました。

小西会員：ロータリー在籍 30 年かつ出席率 100%表彰
有難うございました。

上田幹事：久しぶりのエイトホール。木村さんには迷惑をお掛けしました。有難うございました。
地区大会の出席の皆さん、お疲れ様でした。

山本会員：地区大会、本家の 99 歳のおじいちゃんが亡くなり、2 日目を欠席しました。先週末、大学クラス会の幹事を無事務めました。会津若松や高知や那覇から参加していました。

助田会員：東京研修会を無事終了してまいりました。学校教育基本法その他の教育関係の勉強会でした。

坂井会員：先日の地区大会の伊那食品工業（株）会長の講演会、とても勉強になる話がたくさんありました。年輪経営を見習いたいと思いました。

中島会員：昨夜、立山町で研修があり、朝起きると一面真っ白でした。紅葉の雪景色、最高でした。

水島会員：昨夜 21 時 04 分、孫が誕生しました。予定日より 12 日も早く嬉しくもあり、驚いております。時勢ながら跡取りといえるか、男の子でした。



C.A. 「地区大会後の C.A.」

上田幹事：出席会員から、地区大会の感想を 1 人 3 分でスピーチしてもらいたい。



長谷川会員：昨年の地区大会でもそうであったが、高校生が舞台上で挨拶をしていたことが印象的であった。ロータリーがブラスバンドの楽器などの寄付をしているそうだが、これは明日に翔ける若者たちの教育をロータリーもその一翼を担っていることを甚く感じさせる場面であった。これをもっと世に知らしめることも必要と思った。



河合会長：先ほど話したが、再度話したい。RC 経験は 10 年ほどだが、卓話などで講師の話は余りにも有益であった。その価値が次第に分かってきた。先にも触れたがリーダーシップの在り方でタテ型、ヨコ型があるというように具体的に話をされると合点が行く。地区大会などで皆と一緒に話を聞いてくるということは自分の心を高め、考えをまとめ、新たな言葉の獲得につながる。仲間の勧誘時の言葉にも有益である。この後の 2 月の IM についてはまもなく委員会開催が必要。地区大会はこの IM 計画にも大変参考になった。



三谷会員：ここ 2～3 年地区大会を欠席。今回の大会は特に講演が目的。1 日目の熊本県の榊島知事、2 日目も塚本さんの講演をしっかりと聞いた。結果的に出世した人の話だが、人生は運命付けられているのか、あるいは努力なのか。

2つの講演では努力して自分で開拓した結果が重要だということ。樺島さんは農業から東大教授、そして県知事に。塚本さんも赤字の会社を任されたという運命もあるが、相当な努力で今日がある。2つの講演で地区大会の当初の目的が達せられた。これまでの地区大会はとかく固い雰囲気であったが、今回の中尾ガバナーは他人に対しては温かく、全体に柔らかさが漂った地区大会であった。



水島会員: 奉仕の世界のことでひとこと。生徒の時代は放送部員だったので、職員室は出入り自由、授業中でも先生に呼ばれることもしばしば。3年生向けの試験問題を放送で流したことも（練習?）。これも放送を通した奉仕だったのかなと、今思う。そのせいか成績もかなり下がった。地区会は全体に柔らかい良い雰囲気であった。



中島会員: 一般に地区大会というものは形式的なイメージを抱く。昨年はそうだったが、今年は大変よい大会であった。RCに長い会員も今年の大会は良かったと感じられているのではないかと。来年の小松での大会が今から楽しみ。伊那食品の会長の話は印象的であった。急に発展したらこけるとか、良い会社よりも良い会社。RCも、良いRCよりも良いRC、がよいのかなと。しかし、11月8日の「いい歯キャンペーン」、4月18日の「いい歯のキャンペーン」のどちらも良いかなと、思い直している。色んな意味でこれまで知らなかったことが多くあった。昼食で取ったラーメンは久しぶりで、味は変わっていなかった。12時前なのにお客が多く、変わってはいけないこともあるのだな、と勉強になった。



斎藤会員: 歌が趣味なので広い会場で君が代などを歌えたことが気持ちよかった。当日、所属している井波混声合唱団の定期演奏会の日だったが、地区大会を優先した。地区大会では年々増える知り合いに会えることが嬉しい。奨学生の高源さんに砺波のロータリー奨学生ウンダルマーさん（モンゴル）を紹介してもらった。中尾ガバナーのゲスト紹介はフレンドリーで、ロータリーもこんな雰囲気になれたらと思った。湯浅ガバナーエレクト、次の永田さんの話からそれぞれの個性が出ていた。



坂井会員: 昼食で取ったラーメン店は久しぶり。サラリーマン時代によく行った店。懐かしかった。地区大会ではさすが中尾ガバナーはいい感じであった。地区大会ではいつも、ロータリーのすごさとRI一員であることの誇りをあらためて感じる。ここでの例会のように昼食を取っているだけでは、その実感は難しいが、日常の例会出席の必要性も感じた。伊那食品の塚越さんの講演は楽しみにしていた。素晴らしい経営とそのスゴサは参考になるどころが多く、メモを取った。自分の会社の理念や方針の見直しを考えている時なので、大変参考になった。中尾ガバナーの発言を中村RI代理が紹介していた言葉、「夢が人を輝かせ、希望は人を大きくする」は、早速自分の会社で社員に言った。良い大会であった。



三角会員：いい歯のキャンペーンではたまたま孫が居た。その孫がロータリーから歯ブラシをもらった、とわざわざ見せてくれた。孫に虫歯がありそうで、山本先生にお世話にならねばならない。地区大会はこれまで10月末日近くが多かった。この日程では仕事で出席は難しかった。地区大会は中尾ガバナーのリーダーシップが大変良かった。これに尽きる。中尾さんのRC訪問時の話に感じたことがあった。食事前の「いただきます」「ごちそうさま」は本来の日本人の姿。子どもの時は言うが大人になると言わない。自分もRC例会にはいつも時間ぎりぎりに来るので、これを言わないことが多い。言葉も大切だが感謝の気持ちが大切。伊那食品の塚越さんの講演は素晴らしかった。当RCで機会があれば、伊那食品へ見学し、立派な従業員にも会ってみたい。



上田幹事：地区大会は2日間出た。過去20年という経験があるが、今回幹事という立場上、心を引き締めて出席した。樺島さんの講演は山形県への用件を蹴って拝聴した。以前、熊本で樺島さんの講演を聞いたことがある。その時は眠くはならなかった。伊那食品の塚越さんの講演は無理やりに聞いていた。RIの4つのテストは否定された感じであったが、最後の「皆のためになるか」は評価された。地区大会はロータリーのお祭り、と聞いてきたが、今回のリラックスした運営は良かった。当日言われた人も居たが、2日目午後も多く出席者が残っていたことは、大会が良かった証拠である。腹の立ったことは1つ。大懇親会で富山と石川の会員が分けられたこと。料理も違っていた。喰い物の恨みは怖い。



山本会員：地区大会は毎年出席していたが、本家の爺さんのお葬式と重なって1日目だけ出て、講演はしっかり聞いた。メモもしっかり取った。(メモを取る癖があり、講演者には迷惑を掛けることがある。) 樺島さんの話は良かった。貧しい農家で勉強をする時間のなかった若者は、勉強したい気持ちは誰も持っている。今回のリーダー研修会にロータリアン以外の人を入れたのは初めてと思う。門戸を開いていくことは良い。余談、前日に大学のクラス会があった。宴会後、県外の友人がどうしても、富山ブラックを食べたいと言うので、駅前に午前1時半までやっている「いろは」という所があり、連れて行って自分も食べてきた。ラーメンの話が出たので…。



横山豊介会員：中尾ガバナーの立派さをしみじみと感じる大会であった。プログラム、富商の吹奏楽、会場など見事な取り仕切りであった。中尾さんの人格そのものであった。貶すところがあるとすれば、最後のパーティ。会場が分かれ、われわれは第2会場であった。(隣会場から送信されるモニター大画面を見て)メインテーブルからファーストガバナーたちの喜び方から、中尾さんの大成功がはっきりと認識できた。地区大会では知り合いの顔をたくさん見られることもあり、その年度の良さを確認できる機会。中尾さんの采配が特に目立った良い大会であった。